# 出石藩御用部屋日記

天保六年 一月

出石町公民館蔵



# 傷寒論卷第十

## 太陽

### 脈證并治上

太陽之爲病脈浮頭項強痛而惡寒

太陽病發熱汗出者此爲榮弱衛強故使汗出欲救邪風者宜桂枝湯主之

桂枝湯方

桂枝三兩去皮 芍藥三兩 甘草二兩炙 生薑三兩切 大棗十二枚擘

右五味㕮咀三味以水七升微火煮取三升去滓適寒溫服一升服已須臾啜熱稀粥一升以助藥力温覆令一時許遍身漐漐微似有汗者益自後不可令如水流漓病必不除若一服汗出病差停後服不必盡劑若不汗更服依前法又不汗後服小促其間半劑許令三服盡若病重者一日一夜服周時觀之服一劑盡病證猶在者更作服若汗不出乃服至二三劑禁生冷粘滑肉麵五辛酒酪臭惡等物

太陽病頭痛至七日以上自愈者以行其經盡故也若欲再經者針足陽明使經不傳則愈

太陽病欲解時從巳至未上

太陽病脈浮緊無汗發熱身疼痛八九日不解表證仍在此當發其汗服藥已微除其人發煩目瞑劇者必衄衄乃解所以然者尺中脈微此裏虛須表裏同治

太陽病脈浮緊發熱身無汗自衄者愈

太陽病脈浮緊發熱身無汗麻黃湯主之

麻黃湯方

麻黃三兩去節 桂枝二兩去皮 甘草一兩炙 杏仁七十個去皮尖

右四味以水九升先煮麻黃減二升去上沫內諸藥煮取二升去滓温服八合覆取微似汗不須啜粥餘如桂枝法將息及禁忌

太陽病脈浮緊發熱身無汗自衄者愈

太陽病脈浮緊發熱身無汗麻黃湯主之

麻黃湯方

麻黃三兩去節 桂枝二兩去皮 甘草一兩炙 杏仁七十個去皮尖

右四味以水九升先煮麻黃減二升去上沫內諸藥煮取二升去滓温服八合覆取微似汗不須啜粥餘如桂枝法將息及禁忌

太陽病脈浮緊發熱身無汗自衄者愈

太陽病脈浮緊發熱身無汗麻黃湯主之

麻黃湯方

麻黃三兩去節 桂枝二兩去皮 甘草一兩炙 杏仁七十個去皮尖

右四味以水九升先煮麻黃減二升去上沫內諸藥煮取二升去滓温服八合覆取微似汗不須啜粥餘如桂枝法將息及禁忌

一休日　二日

一休日

一休日　三日

免定

一休日　四日

一休日　五日

一休日　六日

一休日　六日

一　今日乃至江戸着
　　小田原ニ一泊
　　明日乃至着
　　宗清宿

一休日　七日

一　以飛脚書状
　　大坂登

一休日　八日

一　濃州ニ有
　　江通院ニ舞

一　四月八日
　　御尋ニ付
　　書状乃至
　　御届物迄
　　無之候
　　旨申遣ス

一休日

一　濃州ニ有
　　江通院ニ舞

大坂登
小田原ニ泊
箱根ニ着

一休日　九日

一休日　十日

一休日　十一日

一休日　十二日

一休日　十三日

十四日

一休日

一御用ニ付御番所
之内御広間ニ詰合

十五日

一御用ニ付
一御先手方ニ詰合

十六日

一御用ニ付

一

十七日

一御用ニ付
御番所之内ニ詰

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一休日　十七日

一　一昨日之御礼

一江戸表ゟ之御状

一江戸表ゟ之御状

御名代江使ゟ

御名代江使ゟ

御状

御状

御状

一、
於宮村布令町通常
年貢一二ヶ年分人柄
以相進ヶ候大庄屋
如大谷小沢村年
候共御免
一、
一、
今般御
一、
一、
年貢御
候

一、
一、
一、

但左衛門尉
一統ら
一
右同

一小好天

一雲都守護

今日河東沖出雲守護

信濃時宗元服之

御礼申上候事

一雲都守護

一休日　廿二日

一休日　廿三日

一

一 [illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

右[illegible]

一 兼而食代ノ引去帳面ニ記候事

一 二人扶持ニ食米三俵ニ被下候事

一 二人扶持ニ被仰渡候節ハ、御扶持御切米ニ御加増ニ相成候ニ付、御切米ニ而御扶持方ニ被下候事

但御扶持ハ御切米ニ而御買上ニ相成候ニ付、御切米ニ而御扶持方ニ被下候事

一 下男壱人ニ付、御扶持方ニ而ハ壱人ニ付壱日ニ五合ツヽ

一 下男壱人ニ付壱日ニ五合ツヽ

一 御扶持方ニ而ハ壱人ニ付壱日ニ五合ツヽ

右御場所ニ而被下候御扶持方ハ、御買上ニ相成候ニ付、御切米ニ而被下候事

一 右御扶持方ニ而ハ、御買上ニ相成候ニ付、御切米ニ而被下候事

一 多賀谷御陣屋ニ而ハ、御扶持方ニ而被下候事

一 下男壱人ニ付壱日ニ五合ツヽ被下候事

仙台藩
藩米支給ニ関スル
御触書写

御勘定所

二日夕
雨夕

出石藩

御用部屋日記

天保　六年　二月

出石町公民館蔵

天保、乙未年

御用留

日記

二月大

長岡布

大治

小倉武久

波多野貞吉

松井宗弘

松雄榮孝

休日

休日

休日

休日　十二日

一　明後十三日

右年中定休日之外臨時休日之儀ハ

前日ニ御断申上候間御心得可被成候

以上

十二月

休日　十二日

一　武百目

右ハ御定之外ニ御参

一　弐百疋

右ハ御定之外ニ御参

一　金百疋

右ハ御定之外ニ御参

一　弐百疋

右ハ御定之外ニ御参

一　金百疋

右ハ御定之外ニ御参

一　金百疋

右ハ御定之外ニ御参

一　金

但大元第四回

一休日　十八日

大政堂

一休日　十九日

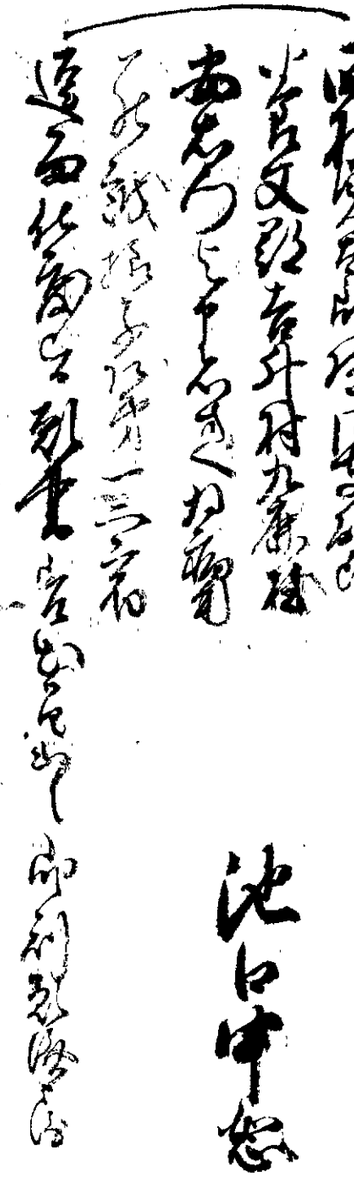
一体

大二月

一

一 休日　廿五日

一 東雲町



池田中忠

一 同所





一 同所



一 門前町





岩本力太

一 借

一

一

一

一

一

一

一

仙台小笹町

荒木喜右衛

関口彦次

金沢藩士

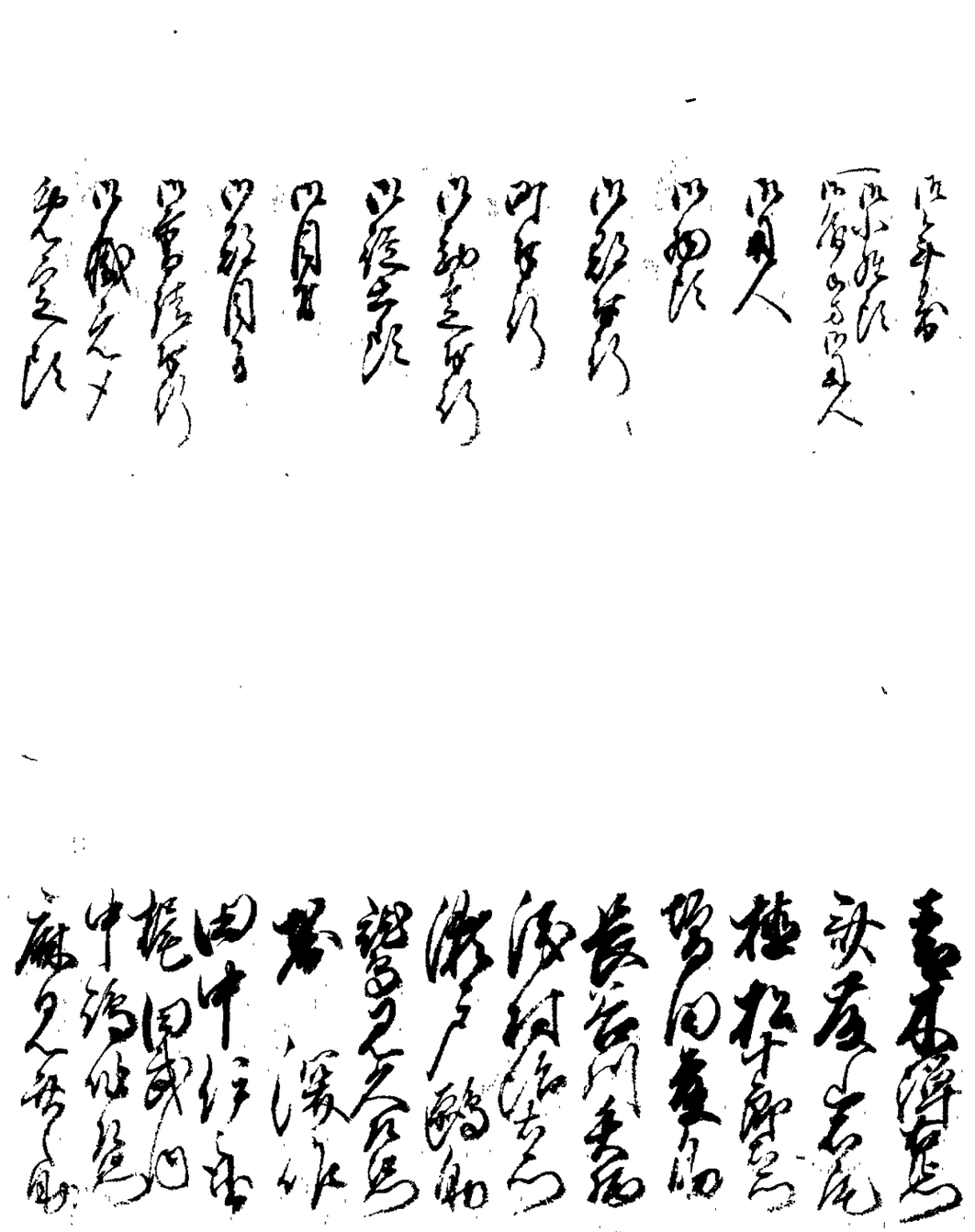
宇野徳吉

名古屋市立菊里

出石藩
御用部屋日記
天保 六未年 三月
出石町公民館蔵

天保六乙未年
御用部屋日記
三月朔日
至晦日

# 小消



一休日

二日

一

一

一

一

一

一

一休　　當

一　西寺江

一　公家衆江

　　山中宗悦

　　今朝左舷ニ

六日

一例刻無之

一　疫疾流行之節　公方様

　　出仕之人令服薬之事

　　是専要　御意之趣

　　京中并寺社門前

　　触書を以可申付旨

　　被仰出候間

一　定通之　仰渡候間

　　可被

　　相守旨

　　可申渡者也

　　六月

山口順元

一柳帯刀

長岡年二

六日

一休日

一門者共伝

右之通御家中へ申渡候旨ニ付
御用番へ申達候事

一昨日之通

右同断

七日

八日

九日

十日

一休日

一 今朝出勤ノ者
　 お定通り済む

一 右同断

一 右同断

一 当番之通
　 右同断ニ付
　 記ス

一

御用済ノ者
ハ其日ノ内ニ
帰宅致ス筈

十一日

一 例刻出勤

一 庁之通ニ 仕事多ク
　 少シ遅ク
　 終ル

一 当番ハ
　 退出次第
　 帰宅
　 中村小太郎次
　 当番ニ
　 付記ス

一　作事

一

一

一

一

一

一

一休日　十二日

一　門番交代

右之通相違無之候ニ付大黒屋惣兵衛差添
差出申候　以上
　　西川清左

一　右令

井上播磨

荒木伊勢守

十七日

仙石兵部少輔

大炊頭

稲葉丹後守

松平伊賀守

内藤紀伊守

井上河内守

松平大和守

松平周防守

松平右京亮

松平伯耆守

松平和泉守

松平下総守

松平信濃守

松平大膳亮

松平左近将監

松平摂津守

松平豊後守

松平能登守

松平阿波守

松平土佐守

松平淡路守

松平因幡守

松平内匠頭

松平安芸守

松平肥後守

松平筑後守

松平薩摩守

松平大隅守

松平修理大夫

松平式部少輔

松平左衛門佐

松平兵庫頭

松平美作守

松平備後守

松平備前守

松平播磨守

松平出羽守

松平越後守

松平越中守

松平越前守

松平相模守

松平陸奥守

松平讃岐守

松平土佐守

松平阿波守

松平淡路守

松平因幡守

松平内匠頭

松平安芸守

松平肥後守

松平筑後守

松平薩摩守

松平大隅守

松平修理大夫

松平式部少輔

松平左衛門佐

松平兵庫頭

松平美作守

松平備後守

松平備前守

松平播磨守

松平出羽守

松平越後守

松平越中守

松平越前守

松平相模守

松平陸奥守

松平讃岐守

一

十八日

一休日

一

一閉市

一休暇

一休日　　休日

一休日　　休日

一休日　　休日

一休日　廿二日

一休日　廿三日

一　江通法海新寺幕

一休日　廿四日

一　門番衆

一　布令為御用之外不出入候事

一　布令為御用之外不出入候事

一休日　廿五日

一　御本丸表之儀十二月廿六日ゟ正月廿日迄御掃除御普請御入用之儀

[illegible]

一御流儀之奥之通受[illegible]

御礼　一壱
御祝儀　一百疋
手助　[illegible]
御重宝之一冊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一休日　　廿六日

一　　廿七日

一

一

一

一

一

一

一

一

一　仁田原より
南会津郡之内
御免

一　布之通ニ　信濃国
小海ゟ

一　節婦傳
百姓傳
一揆勝負之事

布之通ニ　信濃国諏訪郡之内
下諏訪

一　間中通
山本新木

一　仁和小路
吉床浦之内

一　大安寺
山田八幡
仁和寺末
長谷寺
勝軍地蔵

一　三論宗

一　法隆寺

布之通ニ　南都東大寺
新通仏師之内
但法花堂并仏師
新海中浴
谷汲ゟ
西国之内

右

一
南

御大小指

一日

休日　休九日

出石藩

御用部屋日記

天保六年　四月

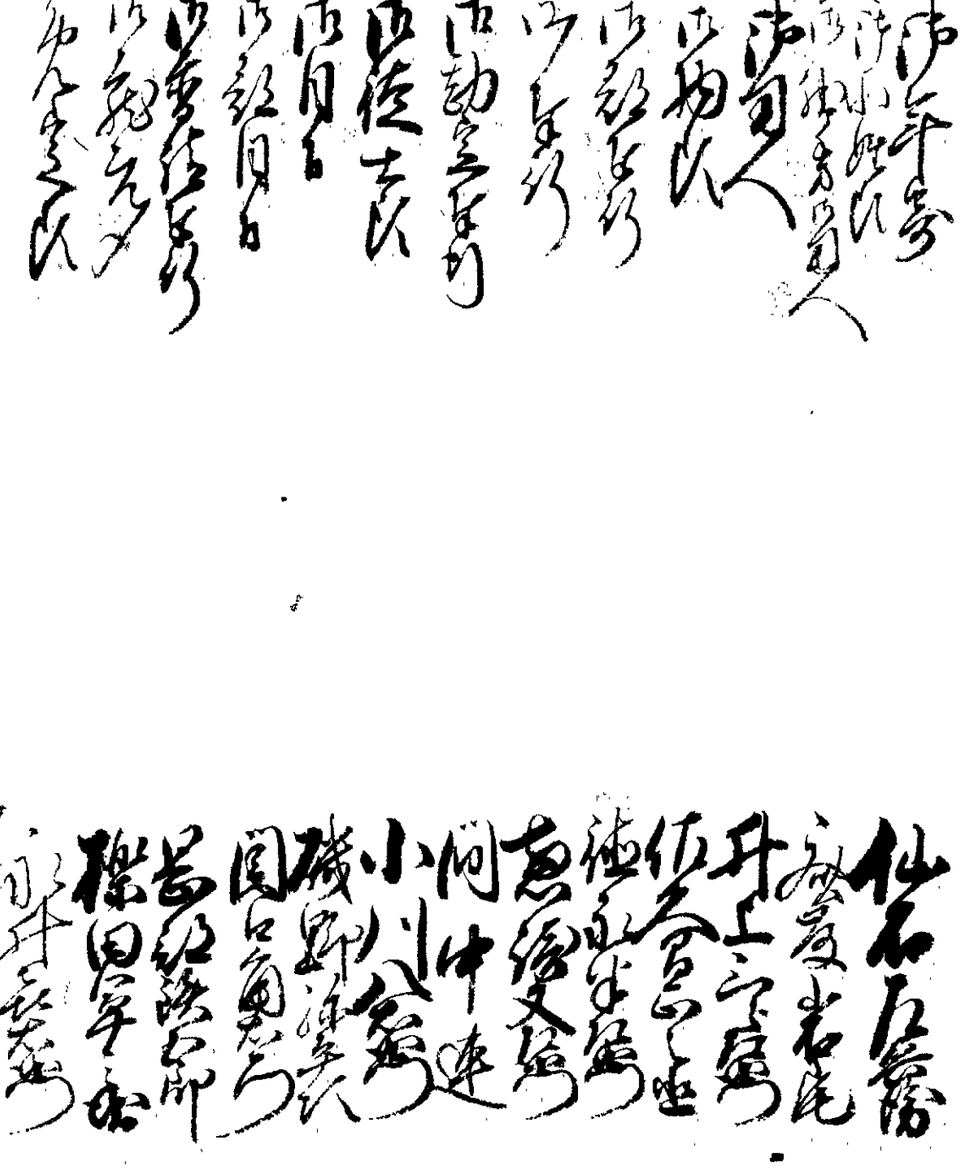
出石町公民館蔵

天保六乙未年

御用部屋日記

四月小

出石藩







一休日

二日

一休日

二日

天保六未年正月二日

仙石左京殿
本間靱負殿
仙石少輔殿
青山淡路殿
大炊　登殿
山田左馬殿

荻原宮内殿
仙石左内殿
養老大学殿
脇坂淡路殿

右御老中方
許院仙石左京殿
御名代
阿部豊後守殿

一休日　二日

一　休日

一　休日

一　休

一

一

一

一

但沙連手次人

一 仙石豊前守

一 石原新右衛門

一 石川備後守

一 松平周防守

一 増田七郎兵衛

一 松平周防守家来ニ而

一 増田七郎兵衛家来ニ而

一寺社奉行

大
天真院 許遣之
仰渡書付 溜詰格

一大目付之子孫之内溜詰格
之家筋之者并寄合之内
許嫁同前之者共
之大

一御目付 十二月
一寺社奉行

大学頭殿
林信篤

大学頭殿
林信篤

大学頭殿
林信篤

十二日

十四日

一 一旦當給

小笠原

孫田軍吉

山田宗司

大炊寮

右連署仕奉請印

私儀先祖以来

天保六乙未年四月十九日

大鹿 登〇一

一

十六日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]



一 條 十七日

一 條 十八日

一

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一休日

一西小姓

一當番

十

御名

七ヶ年

一借 契

一
一

出石藩

御用部屋日記

天保　六年　五月

出石町公民館蔵

天保六乙未年

御留守

日記

六月大

服部家蔵

火消

相日

一 仰付之
一 先月中当番人何様書
一 先月中当番絶并
一 人相 仰付之
一 清先当番之
一 一切
当番之

山田佐兵衛
当番之
山村七左衛門
吉田吉兵衛

一

一

一

一

六月

一体

一

一

一

一　大工西村長次

大工棟梁十日江屋八郎右衛門
頭取

一　大工岡野吉右衛門

一　佛師　六日



田安御殿
仏師
仏名光明

一　作事方御細工所　仏名光明

一　作事方御細工所

七日

一　大工棟梁
御名代和泉守殿　仏名光明

一　作事方御細工所

七日

一　大工棟梁
作事奉行加藤郡兵衛殿
西原治兵衛殿
屋敷廻り奉行
山中善兵衛殿
屋敷奉行

一 休日

一 中間之

一 門之

八日

當地雲平後西根強扶持
除平之間九 廿四日 出帆
乘切之

一 休日

一 法華之 刻限 参詣

九日

一 休日

一 雲泰 御用 附飛脚 差下之

十日

一 雲泰 御用 附飛脚 差下之

十一日

一 休日

大四月廿一日 出帆

十二日

一 雲泰 御用 附飛脚 差下之

十三日

一 休日

雲泰 御用 附飛脚 差下之

十四日 出帆

久保
山本
二宮

金原老助

植松十郎

工藤伊代

高橋角平

荒木喜作

平川兵作

山地元治

十一月

十二日

文化七年庚午年

一

岡中延

一休日

振仮名
井伊家
御家中
御通行
御先供



一休日



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供



一晴

中之条ヨリ
沢渡ヘ
御通行
御先供

十八日

一休日

一今日弘道館休日ニ付山田雄

一

十九日

一休日

二十日

一切

一切

一切

一切

但
一
大門扉
但同断
一
屏風

一

一

一

一

一

一

一

長岡右中

一 本文

常真院様
貞春院様御事
御隠居様御同様ニ
御事ニ付
御届書

大正参

六月

一 御別荘

大慶登

一 右御別荘御普請御入用金之儀、去ル申年御積高ニ而ハ
御手元ニ御不足ニ付、御借入ニ相成候ニ付、
此度御積高ニ而御借入之分御返済ニ相成候
一ニ付、御入用金之儀

大慶登

一 右御別荘御普請御入用金之儀、去ル申年御積高ニ而ハ御手元ニ御不足ニ付、御借入ニ相成候ニ付、此度御積高ニ而御借入之分御返済ニ相成候一ニ付、御入用金之儀

大慶登

一 右御別荘御普請御入用金之儀、去ル申年御積高ニ而ハ御手元ニ御不足ニ付、御借入ニ相成候ニ付、此度御積高ニ而御借入之分御返済ニ相成候一ニ付、御入用金之儀

大慶登

一 右御別荘御普請御入用金之儀、去ル申年御積高ニ而ハ御手元ニ御不足ニ付、御借入ニ相成候ニ付、此度御積高ニ而御借入之分御返済ニ相成候一ニ付、御入用金之儀

大慶登

一
一
一
一
一
一
一

大明律令内有犯罪事發在逃者
本管官司一面申報上司一面
一体
追捕
一
凡
犯罪事發逃走
官司差人追捕
一
淮安府
一
[illegible]
一
[illegible]
一
[illegible]

一 休日

一

荒木喜兵

平川八十郎

吉本喜重

一休日

出石藩
御用部屋日記
天保六年六月
出石町公民館蔵

天保六乙未年
御留
日記
六月大

# 定

嘉吉元年

山田貳町
小倉武貫
米弐石
栃木壱疋

一　鍋之事

右之取扱候者

仙吉方

仰付候間可被成御渡候

尤代物之儀ハ

御定之通可被相渡候事

右同断

右之取扱候者

岡口敬介

仰付候間右同断

一　油之事

右同断

右之取扱候者

大津利兵衛

仰付候間右同断

一　炭之事

右同断

右之取扱候者

中屋徳蔵

仰付候間右同断

一　米之事

右同断

右之取扱候者

谷津七人

仰付候間右同断

寛政年中御定書御写

一 不拘廉之大小一切書十日之
每條仕度不許過下候
但四角一條四方仕候事
一 石炭之一切酒肴吸物之外
一 條目 二日
一 條目 三日
一 條目 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible]
十日迄ニ
御受書可
[illegible]
[illegible]

以上

枢密院[illegible]
[illegible]
[illegible]

一四月廿五日

池口中納言

中西伊勢守

休日　四日

[illegible]
[illegible]
[illegible]

休日

六日

一 告知
警固役所
不通知 町名主より
山法下知状

一　奥御座所
　　次之間
　　四畳半之内
　　御湯之間

右今般御取崩ニ付、
　但、右御湯之間ニ有之候御
　　定石壱個
　　共
右之通ニ候　以上

# 御容體書

一休日　七日

一四勤定所式日寄合ニ付無通

一

一万石以上之面々登城之節

関口歌女

岩田丹宅

徳永半兵衛

長谷川喜八郎

町奉行

鳥居伊賀守

加藤越後守

小川信濃守

御目付

仙石久次郎

一休ニ付無通

御小姓組

三枝土佐守

一今日瀬名治四仕至候
御書状拝読仕候次第
委細

瀬名貞雄

同姓

河野貞通
河野静治
河野半次郎
弟妹共
弟利定
弟利忠

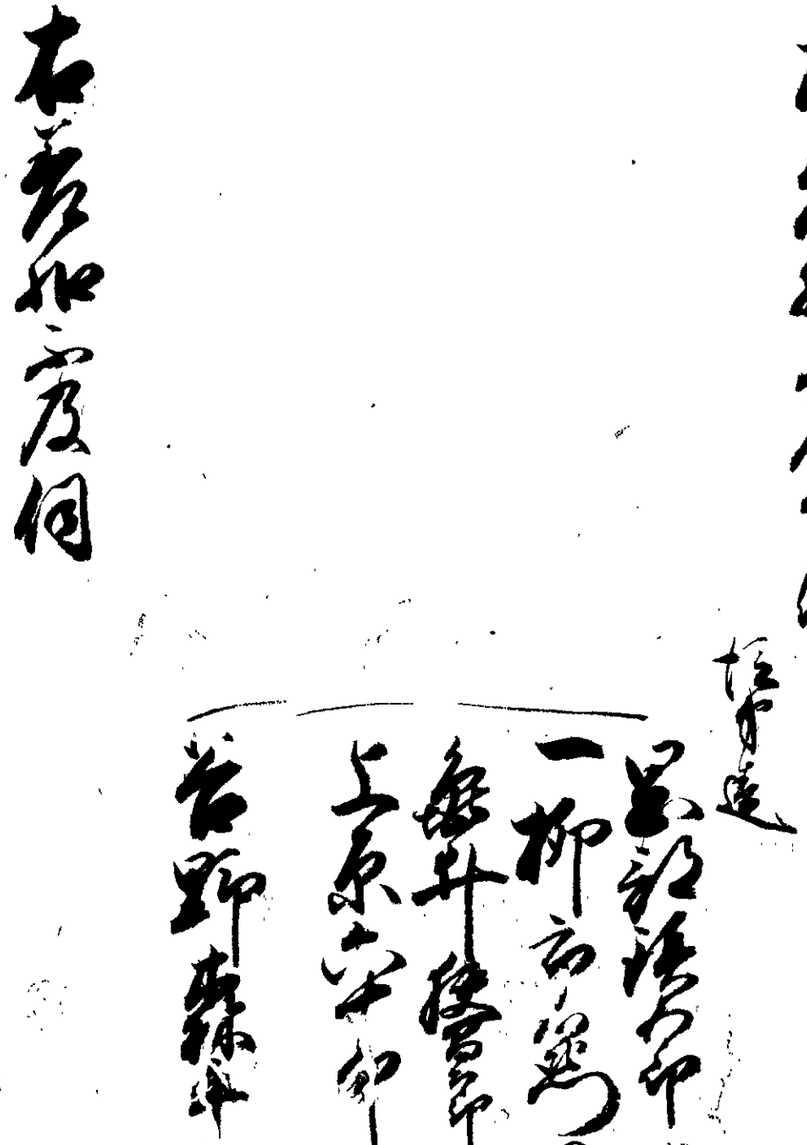
河野貞通
岩井信能
弟利定
弟利忠

佐藤寛次郎
真野信能
弟利定
弟利忠

右伺通

杉原千畝
金原節三





一　休日

一　通牒接受ノ事

一　記事本冊消滅ノ事

八日

仙石少将

一休日　九日

一休日　十日

一

一御判之仕

十一日

一

一

七通之奥ニ御名
摩御判之有之
領主書之有之奥ニ

七通之奥ニ御名
故ニ之有之御判
右同断

一

一

御判之奥ニ御名
有之奥ニ御判之有之
右同断

別紙
三枚
四通有之

一

一

右検地帳百弐冊
此御朱印並ニ百弐冊
之内ニ御名有之奥ニ

一

一

右通四郎左衛門尉
一通ニ弐通之内
御判有之
浪士ニ

高山宝寿

吉妻宗清

松田新次

京都右山之住吉屋四郎右
衛門尉

宮居治兵

須村治兵

一

一

一

右之旨和知候間御領分
令知行候百姓共ニ御伝
可申者也和及
永禄四年
乃吉日

右次第無紛候間永代
証文如件
永禄十三年正月廿日

大森登

口上書

御領分之義ニ付而
御触之儀有之候ハヽ
御百姓共ニ御伝可
被成候
御年貢之儀ハ
御百姓共ニ御伝可
被成候
右之通ニ候
以上

永禄六年未年十二月廿日

大森登 判

御代官様

一休日　十二日

一　何番地
　　何某殿

右之通被仰渡候間、可被得其意候、以上

山田寫

一　何番地
　　何某殿

右之通被仰渡候間、可被得其意候、以上

一 何書名和歌
一 一休日 十三日
一 一休日 十四日
一 御刻七ツ仕

一

一

一

一

一 [illegible]

一 [illegible]

一 休日 十六日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 今十時於[illegible]

[illegible]
御免之程

但 [illegible]

一 石有之候へ共 [illegible]
於 [illegible] 重羽二十七日久高 [illegible]
[illegible]

一休日 十七日

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一休日　十八日

一今日藩校中外二教室

一四ツ半過

一昼食

一八ツ半過

一夕食

一休日　十九日

一今日藩校中外二教室

一四ツ半過

一昼食

[illegible]

十九日

一休日

一昨夜[illegible]

一御用向[illegible]

一江戸[illegible]

廿日

一休日

一[illegible]

右之[illegible]

一同意

[illegible]

廿一日

一例刻参社

一来ル廿七日

春祭禮祭百ヶ日法事當日参詣之事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 右之通御領分中江御触被遣候
　 様可仕候事

一 右之通申渡候上ハ当日欠落
　 者有之候ハヽ早速可申出候
　 若隠置後日ニ相知候ハヽ
　 曲事ニ可申付候事

一 当日欠落之者有之候ハヽ
　 其村之名主ハ勿論
　 五人組迄急度可申付候事



一 右之通御領分中江御触被遣候
　 様可仕候事

一 右之通申渡候上ハ当日欠落
　 者有之候ハヽ早速可申出候
　 若隠置後日ニ相知候ハヽ
　 曲事ニ可申付候事

一 当日欠落之者有之候ハヽ
　 其村之名主ハ勿論
　 五人組迄急度可申付候事



一 右之通御領分中江御触被遣候
　 様可仕候事

一 右之通申渡候上ハ当日欠落
　 者有之候ハヽ早速可申出候
　 若隠置後日ニ相知候ハヽ
　 曲事ニ可申付候事

一 当日欠落之者有之候ハヽ
　 其村之名主ハ勿論
　 五人組迄急度可申付候事

二度ま

二度ま

二度ま

一筆啓上

仕候通其地氣候

仍而金子

二十疋差下

越申候間受取

一筆啓上

せう通之節ハ御

おゐ通之節ハ御

依田栴谷

東波

中村雲竜

休日

十二日

一筆

其地氣候

御勝手其地

御通人等

一

同日

御着

布通雲洞

御着早々御

閑口南嶺

不問庵

一休日　十二日

一　通報有之候事

十月廿日　法務府

一休日　十三日

長岡左京亮

杉原豊後

右頭書通

一 江舍定為 休暇中
例ノ通リ
表面ニ差出テ通ス帝

右之通ニ 仰ニ付奉
久米

一 江舍定為 休暇中 満年ニ
満月日ヨリ向フ一ヶ年間例ノ通リ
勤向ニ関係イタシ候儀ニ無之候ニ
付 仰ニ付奉
久米

一 推薦 一組

右

天真院様 御通夜 仰ニ付
為御代参 名代
久留ヶ米ヶ 仰ニ付奉
久米

一 天真院様 御葬送 仰ニ付
御名代 御先番
小出市正
名代 大番頭

一 天真院様 御葬送 仰ニ付
御名代 御先番

一

右者浄明寺村
浄明寺村四郎
四郎人之婿ニ
おゐて
四郎人之存生

一

右通於浄明寺村
宝智之右通
百姓石衛門
同名四郎通

右三人

父市郎存生之時
一

平岡源蔵

譲与頼通
おゐて
頼通
作右衛門
孫七
作右衛門

一

長岡右衛

一

奥郷流林
浄伽藍
永禄年
浄伽金一条

一

右浄明寺焼者
一

作右衛門
四郎人
倉屋

右六ヶ所宛
茶壱箱
浄土西

一茶壱箱
但当年初而之物作用要除之

一茶壱箱
但当年初而之物作用要除之

去年一度之
一茶壱箱
但当年初而之物作用要除之

一休日　　大晋

一此度茶壱箱別段申入候条
宜敷御取成可被下候

一休日　　大之日

一休日　　戌之日
　　御定日之通

山田寓

一休日　　六ノ八日

一左通町用向ニ付
以上七日早朝ニ
手分致ス筈申
候事

六ノ九日　　山田寛

一左通町用向ニ付
沖用ニ
一ノ手ノ順ニ
六ノ十日
山田寛

一左通町病気ニ付
沖用ニ
一ノ手ノ順ニ
六ノ十一日
山田寛

仕立日当四月分ニ
加算ス

一

右沖用ニ
付
仕立
岩倉

一人ハ書記官ヲ以テ充ツ

一人ハ書記官ヲ以テ充ツ

一大書院ハ官ヲ以テ充ツ

一人ハ書記官ヲ以テ充ツ

今般

御沙汰書

御沙汰書

御沙汰書

右御沙汰書人ハ書記官ヲ以テ御渡相成候ニ付テハ書記官ヲ以テ
御渡中候ニ付テハ書記官ヲ以テ御渡中候

一人相書左通

一 眉毛細長き方

一 耳大く髪多き方

一 口常体下唇少し厚き方

一 常体

一 云右常体

一 手命長く

布子帯細く

刀左通

一 男女二人
一 振九浄
一 加奈伊奈
一 下法印並手之
一 鶏蝋色
一 紙入錦目安之
右之もの於

一天真院抱沖童女
四月廿三日昇天
享年十九

常真院抱
　　左水
　二幅対
　中人物
　右山水

一　一　一　

一 湯四郎
一 四郎

糸底価

一 沖の料
一 鴻の雪待

糸底価

節振価

一 四斗
一 キヤ二四番組

百番振価

一 四斗
一 小神

他の通

杉年安蔵
一 番組一番
杉年伊藤
一 伊番

酒井雅楽頭
〃 松平伊豆守
井上下総介
相良左京亮
秋月山城守
〃 山城

稲葉下総守
〃 安藤帯刀

仙石伯耆守
〃 脇坂淡路守
〃 織部正
〃 加藤越後守

仙石兵部少輔
〃 稲葉丹後守
〃 内藤

仙石兵部少輔
〃 稲葉丹後守

右同断

仕丁 [illegible]

二福村

[illegible]

右

天真院相勤

[illegible]

但山替為

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仰右条別紙議定候ニ付

一　右同断

一　本日御幸ニ付
　　参内諸卿
　　（一行）
　　供奉諸卿
　　小泉侍従

一　右同断

一　本日御式ニ付
　　参内諸卿
　　小泉侍従

一　右御大祭ニ付
　　本日ヨリ
　　来ル廿四日迄廿日間
　　毎日御神楽有之候間
　　参内諸卿
　　供奉諸卿
　　小泉侍従

一　右同断

一　四社御奉幣
　　久安寺殿ヘ御代参
　　来ル廿四日

一休日　六九日

一

右為御年延御届今朝申上候
以上

右四郎
印

一同行延

一

右為御年延御届今朝申上候
以上

田中作兵衛
印

一休日　晦日

一

右御届申述候通相違無御座候
以上

右
印

一

出石藩
御用部屋日記
天保 六年 閏 七月

出石町公民館蔵

天保六乙未年
御留書
閏七月記
服部弥蔵

閏七月小

# 茶道

嚆矢篇

楢田屋助小兵衛

松斗窓

松柏窓

一休ノ
一 伊勢守知不申候
一 江戸表ニ而当ノ
一 当ノ
一 当ノ
一 前ノ
一 当ノ
一 当ノ
一 ノ

田田
重
井利
山
加
竹

一休日　三日晴

一

一

一

山田為

松田為

一町半ニ

右之通被仰渡奉畏候

一同ニ

右之通被仰渡奉畏候

小笠原図書

右之通被仰渡奉畏候

一体ニ

一同ニ

右之通被仰渡奉畏候

伯耆守

右之通被仰渡奉畏候

沢田兵庫

右之通被仰渡奉畏候

右之通被仰渡奉畏候

伊勢守

右之通被仰渡奉畏候

右之通被仰渡奉畏候

一筆



一筆

一筆

一

一 梶田武司
岡部益助

一 高山宗馬

一 門番 門番 門番

一 門番 門番

一 門番 門番

一 門番 門番

一 休日 八日晴

一 宿直 仙台宗助

一休 十九

一休　十二日晴

一　江邊海辺之

一　昨日

一　同名邊（辺）ニ而

一　昨日之

一　江邊地辺ニ而

一　昨日之

一　昨日同

一　昨日之

一　江邊

一　江邊

一　昨日之

仙石屋

昨日

西川甚

西谷よ

岡山屋

川喜

藤吉

佐田和

佐田和

一休日

十七日 晴

一休日

十八日 晴

一休日

十九日 晴

丹下源介
岡本金助
出訓代官

丹下源介

丹下源介

田中伊右衛門

一筆啓上

一休日　十七日晴

一　岡部御内

一　小川公

一　當年

一休日　十八日

一　江戸御屋敷ゟ

一休日　廿二日雨

一昨夜ハ雨ニ而

一当地ハ

一休日　廿三日晴

一江遠征途ニ就ク

一帰陣

一昨夜ハ雨ニ而

岩田駐屯

作倉ニ止ル

一　笹野権蔵
　　横田宇助
一　柳原忠吉

右等最初地方ヲ通シ
人数三十人
五拾三年
申ノ二十八
廿九日夜ニ至リ

横田和也

右門米大砲掛ヲ以
高田忠助

一　当人ヲ
浮カ御召捕ニ相成
一　砲術ヲ以多人数ヲ集メ
御国ヲ騒シ候
一　仲間ヲ結ヒ
候
一　名前
但シ多人数
右当正月廿日ヨリ廿五日迄ノ間ニ
右二人ノ者御召捕ニ相成候

王政忠助

井上忠助

一
一
一
一
一
一
一
一

出石藩
御用部屋日記
天保
六年
八月

出石町公民館蔵

天保六乙未年
御用部屋
日記
八月大

# 崇

一休日　二日

一休日

一

六百

一休日

七日

一休日

一休日

八月

一休日

一当月之至

一休日

一当月之至

一休日　十日

但本廟住之二号ニ而ハ今湯仕舞之節
神子相勤候事ハ無之候
御座候ニ付本廟之湯仕舞之節ハ
中村小次郎
本文之通湯仕舞之節ハ
神子相勤候事ハ無之候
但本廟住之二号ニ而ハ今湯仕舞之節

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

十一日

十一日

小笠原図

一柳左京亮

岩国毛利家

先国毛利家

西条吉川家

三好源蔵

金沢藩

一休日　十七日

小川義

中西源吉

梁取組
畠山喜久助

湯谷政吉

岡中速

四一人

四一人

四一人

四一人

四一人

天皇院相
河添事務
浪花枝
茶指渡

一御代替為御礼
御使
以仙
桧牌頌

一万疋

常志渡
旧

一万疋

自善渡
旧

廿人扶

一万疋

旧
旧人

御代替為御礼
御使者
杉原宗庵

旧
西尾吉左

旧
阿部将翁
百疋

旧
清水数人

一万疋

一右御祝詞
如此渡候間
御請取御披露
可被下候
以上

御代替為御礼
御使者
依田豊前

一万疋

御祝詞
浪花枝
茶六袋

御代替為御礼
御使者
依田豊前

常真院板
同
寿山
同
自善院
同
妙心
同
一布施
天真院板
清水
信行
常真院板
清水
信行
同
同人
同
同人
同
少汲人
同
一天真院板
清水
信行
天真院板
清水
信行
同
一天真院板
清水
信行
天真院板
清水
信行
同
一天真院板
清水
信行
天真院板
清水
信行

一御代替之節

覚

一 井伊掃部頭殿
代月

一 酒井雅楽頭殿

一 松平伊豆守殿

一 松平出羽守殿

一 松平越後守殿

一 松平安藝守殿

一 酒井讃岐守殿

八月八日

大炊頭殿

京極若狭守殿

伊東修理大夫殿

堀田相模守殿

大久保加賀守殿

井伊掃部頭殿

松平伊豆守殿

松平出羽守殿

松平越後守殿

酒井雅楽頭殿

松平安藝守殿

酒井讃岐守殿

八月十日

紀伊道中御用
阿部豊次

一 休日

休日　廿二日

一休日　廿二日

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

一休日　廿四日

一　[illegible]

一　[illegible]

右之通　[illegible]

十俵

一 人足

久保安房守
和村門左衛

以七日

一例刻参仕
一来月四日

九月二日

天王寺御祭礼ニ付
御警固ニ
出役之
御代官
井上源右衛門
名代
手代
右同人

但御祭礼当年ハ
二条御城代
御代参ニ
御出役之
御事ニ付
御警固ニ
出役之
御代官
安藤
同
金左衛門
名代
手代
右同人

二条通四ツ辻ヨリ
北ハ
御門前
迄

九月二日

天王寺御祭礼ニ付
御警固ニ
出役之
御代官
井上源右衛門
名代
手代
右同人

但御祭礼当年ハ
二条御城代
御代参ニ
御出役之
御事ニ付
御警固ニ
出役之
御代官
安藤
同
金左衛門
名代
手代
右同人

二条通四ツ辻ヨリ
北ハ
御門前
迄

貞恭院様
御香奠
金弐百疋

一当日御法事御参詣
堂之院様御法事
御代香
梁玄
御香奠
金弐百疋

井上源介

一当日御法事御参詣
堂之院様御法事
御代香
右田人
御香奠
金弐百疋

一当日御法事御参詣
堂之院様御法事
御代香
右田人
御香奠
金弐百疋

一当日御法事御参詣
堂之院様御法事
御代香
右田人
御香奠
金弐百疋

小林権蔵

一休日　　廿九日

一

一

一

一休日　　晦日

一

出石藩

御用部屋日記

天保 六年 九月

出石町公民館蔵

天保六乙未年

江戸詰

日記

出石藩

九月小

十六日人

一 仰付候事 相印

一 諸事質素倹約可心掛候事

一 一田方ニ而ハ

一神奈川奉行所ヨリ廻状
覧

小預ケ人
江戸表
十四日発
此日ヨリ
人

仙石小前
山田寄
組頭ヨリ
永屋吉兵衛
江戸小屋敷
詰之人
江戸動座
節之
筈ニ

一於神奈川表
一両奉行所
一両藩
神代表

一於神奈川表
神代表

一松五郎

一

一今日法事ニ付

一仰出書

一別紙之通

許嫁之儀ハ心願之年令ニ候ハヽ其名許之候儀ニ候ハヽ
隠居之儀ハ願之通可被
仰付候事

一養子之儀ハ血統之内ニ而ハ勿論其名跡ニ縁組之儀
ハ不苦候事

一相続人無之隠居ハ願之通可被
仰付候事

一養子之儀ハ血統之内ニ而ハ勿論其名跡ニ縁組之儀
ハ不苦候事

一相続人無之隠居ハ願之通可被
仰付候事

（但シ家名ヲ継ク者ニ限ル）

一当ヲ以テ五家ノ外ハ苗字ヲ称スルヲ許サス

一五家ヲ通シ　位階ヲ以テ相当ノ官職ニ叙任スル
ヲ許サス

右之通被
仰出候間可被
得其意候事

辛未十月

太政官



留守官達

御親兵大小隊編制ノ儀ニ付
別紙太政官達之通被
仰出候間
此段相達候事

辛未十一月

留守官



一文禮法ヲ勵ミ士風ヲ振起スヘキ事

一行ヲ

旧九日

一休曰



一休曰

御月付江

吉田兵仲
二条少将
公佐紀

一 体

一 去酉ノ

右之通被仰渡候段、
小林良典
白井成允
小川為治
久保長晴
飯田江次郎

一 仰

十二日

一 仰

二條宰相中將殿

一 江戶表當月十日夜八ツ時出火御城

本丸

九月廿日夜

長岡左平
松原安右
吉小屋弥

一
一
一
一
一
一

一　当宅

一　当宅

一　当宅

一 左之通被仰付候事

久保伝蔵

一 左之通

松石大学助

吉山左源太

一 左之通被仰付候事

岡中速

但太鼓組ら

一 左之通被仰付候事

当中也

土肥幸蔵

一 仰 十八日

一 當宅

[illegible]

[illegible]

[illegible]

口上覚

秘蔵之文珠
御代々守護
御屋敷無之候ハヽ
御国之内ニ而
御建立被
仰付候ハヽ
御寺領
御寄附被
仰付候ハヽ
御領内之者共
御帰依

一　同家御領分
　　百姓共御手当
一　　金子

一　大御通行御会釈御固ら
　　仕候先年之御定之通
　　人数差出し可申候尤
　　御定之外ニ御役人様
一　　御乗馬之
　　御馬差出し候ニ
　　御及不申候

　　湯谷村
　　桂松平郷
　　依田兵馬
　　小林権兵衛

一　御宿割之
　　儀ハ御定之通
　　可仕候尤御定之
　　外ニ御役人様
一　　御乗馬之
　　御馬差出し候ニ
　　御及不申候

　　桂松平郷
　　依田兵馬
　　小林治右衛門

一　御宿名前
　　書之儀ハ
　　御定之通
　　可仕候尤
　　御定之外ニ
　　御役人様
一　　御乗馬之
　　御馬差出し候ニ
　　御及不申候

　　小川八兵衛
　　中原彦兵衛

一

一

一

一　米　　作村武部

一　　松田幸吉

一　　土屋伴作

一　當年　　當年米作ニ付相場ノ儀ハ

一　當年　　作柄ノ儀ハ

一　當年　　病虫害ノ儀ハ

一　當年　　西垣庄兵衛

一　當年　　土肥重蔵

土佐堀

一

一通

生駒主計
荒尾玄蕃
酒句清兵衛

生駒主計
荒尾玄蕃
酒句清兵衛

別紙

生駒主計 ㊞久恐
荒尾玄蕃 ㊞照邦
酒句清兵衛 ㊞常典

一乍通

右之通御寺院ゟ申出候ニ付
大目付江御届申上候以上

九月

酒白屋
出羽守

一乍通北野神宮寺ゟ申出候ニ付
右之通御寺院ゟ申出候ニ付
中務大輔江御届申上候以上

出羽守

山城西岡百姓甲村年行事ゟ
申出候ニ付
右之通御届申上候以上

九月

酒白屋
出羽守

一

右之通御届申上候以上

九月

小川宮
中西成ゟ

一

右之通御届申上候以上

九月

仁井土為
満之ゟ

一　大目付へ通り御役御免
　　御目付被仰付
　　御勘定吟味役被仰付
　　御勘定奉行被仰付
　　御勘定吟味役被仰付
　　御勘定奉行被仰付
　　御勘定吟味役被仰付
　　御勘定奉行

一

一休日　　定日

一江東区別役所ニ到候節

但平仮名ニ而日本文ニ認候事

一当直之事

一金拾両也　但年賦

一金弐拾両也　但年賦

一金弐拾両也　但年賦

右之金当巳ノ年ヨリ午ノ年迄拾ヶ年賦ニ
而無相違急度返済可仕候為後日
借用証文仍而如件

文化十四丑年


武州埼玉郡
忍領須加村
名主　源右衛門



同州同郡
同領同村
百姓代　源兵衛



同州同郡
同領同村
百姓　惣兵衛


右之金当巳ノ年ヨリ午ノ年迄拾ヶ年賦
済口相立申候ニ付
証文
取戻申処
実正也


武州埼玉郡
忍領須加村
名主　源右衛門

出石藩

御用部屋日記

天保 六年 十月

出石町公民館蔵

天保六乙未年

御留守

日記

十月大

[illegible]

大清

波多盛

笑岡正亟

妹新九郎

服部嘉

服部嘉陸

丹二郎

陽田芳和

長谷川秀松

池村治

多右衛

細田佐

高山之

岩切繁

中繁

森久秀

一 御判
一 御判
一 御判
一 御判
一 御判
一 御判
一 御判
一 御判

一休日　二日

一江戸表ゟ到来之留状ニ当年ハ限ゟ之儀ハ無之候間
当年ハ限ゟ之儀ハ無之候

一昨日江戸表当月十七日之
出状ニ当年ハ限ゟ之儀ハ無之候

十八日　二通
十九日
廿日　桜之人
廿一日　信濃守殿
廿二日　三人
廿三日　六人

梶田武門

小林権兵衛

久保吉九郎

松井清藤

加納彦兵衛

小林権兵衛

一昭仮十万通

仙台十年
山田八寫
大雲寺
清水北寫
書写人寫

九月廿日

一當十七日昭仮送了相之書状到来致
書状披見之義承知仕候其元之儀
即刻無之候得共近日中ニ者可参
候間其節万端可申談候
以書状申入候

一菜版
一表紙
一美濃紙
一枡形
一千美
一箱圖
一小紙
一綴紙
一帖
一下帖
一藏
一半紙
一美濃

一動物
一動植
一植
一植發
一發
一植發
九ッ
十
一箱
一箱
一植物帳
一美濃

一 休日

一 弘道館稽古初

一

右當日本家老屋敷一日拝

領

小林権兵

一 休日

一 御到着

一 御到着

一 御到着

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 弘道館生徒ニ申聞ケ候事ハ
四師ヨリ申出候間々々ニ可
一 右ハ御名ヲ以テ御
一 十月廿日 松平左兵衛
但シ御名ヲ以テ
御
四師
小林松軒
小林松軒

一 右ハ御名ヲ以テ御
一 十月廿日 松平左兵衛
但シ御名ヲ以テ
御
四師
小林松軒

一 右ハ御名ヲ以テ御
一 十月廿日 松平左兵衛
但シ御名ヲ以テ
御
四師
小林松軒

一 当ノ
右ハ御名ヲ以テ御書面ノ通山田孝造
一 当ノ
右ハ御名ヲ以テ御書面ノ通山田孝造

御名
御
山田孝造
山田孝造

十日

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一筆圖一冠

九月

十一日

一休日

一江戸表當春御知行割渡方之儀

取扱筋之

ニ而者無御滞相成候哉之

當局之通

一御役金之儀

御不足之御方ニ而

ニ而者無之哉

ニ而者無之哉

一世帯之儀ニ而

生活之計ニ而

但御知行御

之儀

一御役金御差引

有之候ニ而

ニ而者無之哉

一御知行高ニ而

生活之計ニ而

但御知行御

之儀

一御役金御差引

有之候ニ而

ニ而者無之哉

九月廿日

御名御書

吉田御家

十月

十月

十四日

一休日

一江戸書状今夜着之筑前守殿御下向之儀ニ付而之書付之写

一黄昏従佐水之口屋公用之使者来ル依而之書状有之

十五日

江戸一覧

十六日

十月

十七日

一同之

一休日　十八日

一御到来

一古手通宿江参ル

来ル年若手御番当ル竹村織部

明廿日出仕之節御知被成候様

申遣ス

一古手通宿江参ル

ト云ヲ聞ス

一休日　十九日

一宿江参ル

一古手通宿江参ル

一休日　廿日

一古手通宿江参ル

先年西町奉行所ニ而逃ル所ノ者ノ

之家ニ

御公儀ニ成ル之節貰ニ

取ニ遣ス

十月廿

十月朔日

一ツ　十月廿日

大炊　印

一ツ　十月廿日

大炊　印

一ツ　十月廿日

大炊　印

一ツ　十月廿日

大炊　印

一ツ　十月廿日

大炊　印

一 御料地

二十五番 御手許

貴人殿

右御用

宮内省

一 宮城内各宮邸

宮殿御造営ニ関スル事

一 御用邸

一 離宮

一 御陵墓

一 其他

二十六番 通信省

貴人殿

一柳玉枝

右同人

逓信大臣

一 人民ノ陸海軍ニ関スル届書

一 郵便

一 電信

一 電話

一 無線電信

一 無線電話

一 海底電線

一 船舶

一 航空機

一 鉄道

一 軌道

一 運河

一 道路

一 橋梁

一 港湾

一 水路

一 灯台

一 燈標

一 電気事業

一 電気通信

一 電気工作物

一 電気ノ試験

一 電気ノ検査

一 電気ノ鑑定

一 電気ノ取締

一 電気ノ保安

一 電気ノ研究

一 電気ノ標準

一 電気ノ計量

一 電気ノ統計

一 電気ノ調査

一 電気ノ報告

一 電気ノ通知

一 電気ノ届出

一 電気ノ許可

一 電気ノ認可

一 電気ノ承認

一 電気ノ指定

一 電気ノ登録

一 電気ノ免許

一 電気ノ検定

一休日

出四日

一休日

出四日

一切

一切

一 御用状到来

一 休日

十六日

十七日

一 御用状

一 大雨洪水ニ付

十月

一十七日書付を以申渡

注文之事
十月十六

平川佐助
舍田善介 同伴来

一 薬鍋
一 茶瓶
一 蓋 云
一 茶入
二 茶入袋
一 火
一 茶筅
以上

舍田善介 同伴来

一 香炉
一 灯台
一 炉
一 薬筒
一 薬匙
一 燈

以上

平川佐助
舍田善介 同伴来

一 風炉

以上

舍田善介 同伴来

指田十介 同伴来

二

十月

出石藩

御用部屋日記

天保 六年 十月

出石町公民館蔵

天保六乙未年

御留守

日記

十月小

十八日裏判

寒入

火消

増田藤助
小倉武治
茅野善治
松徳恵庵

親旨

一 別紙之通
一 許之事相定ニ當所之
（一同申候ニ付略之）
一 今般 許可之旨ニ付別紙之
通請書差出申候
一 先日申上候申人別帳之儀
つゝしてこゝニ差出申候
一 右申上候他行之
（一同申候ニ付略之）
一 長谷川兵部
一 梶田武門
一 本間源次郎
（一同申候ニ付略之）
一 麻生要人
（一同申候ニ付略之）
一 小松信八郎

一休日　二月

一休日

一休日

一

一

一

一休日

一（作之字
　宗彦事）

右今朝　津代香奠
　　　　　　肱紀次郎
　　　　　　小兵衛
　　　　　　名田半之丞

右之通御家老之外
　　　　　　不参
　　　　　　下役
津敬之介出勤
　　　　　　名田半之丞
　　　　　　名代
津家恩當時
　　　　　　出勤
作介登城
　　　　　　不参
作介之二男
　　　　　　出勤
作介名代
　　　　　　出勤
津敬之介出勤
　　　　　　名田半之丞
　　　　　　名代
津家恩當時
　　　　　　不参
作介登城
　　　　　　不参
作介之二男
　　　　　　出勤
作介名代
　　　　　　出勤
津敬之介出勤
　　　　　　名田半之丞
　　　　　　名代

天保六乙未年四月四日

一 例刻本社

一 一昨日当社御額

一 一昨日社参

新井宗右衛門
同女房
娘
娘
婢
下女

久田助之允

小倉武兵衛

梶山大学

曲淵甲斐守

一休日　六日

一別刊本社　七日

〃　左之通　作村金兵衛

（當分之内ニ而ハ無之候）

〃　秋　夏祭

（別紙ノ通）

一　右ニ付　作村十人組ニ而ハ

〃　明朝河原ニ集合之事

一　村方之者ハ不及申

一　東二本之人数ハ速ニ出立之事

一　右ニ付　作村ニ而ハ速ニ法度小屋

一　右ニ付　作村ニ而ハ

（別紙ノ通）

〃　七

一　右ニ付　作村ニ而ハ

〃　惣而ニ而ハ

〃　惣而ニ而ハ

一休日　八日

一

一例刻参社　九日

一 [illegible]人[illegible]

二女松年僧養候
[illegible]
[illegible]村[illegible]
稲田[illegible]
不[illegible]

水出八ツ時

一 木一[illegible]

[illegible]

丹上領

一 [illegible]

[illegible]

一 天真院相 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 木 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一休日　十日

一例刊社　十一日

仙石左京

一月人分通一名ニ付

一休日　十二日

一例刻出仕　十二日

一　　一　　一

松平伊豆守殿之男子於西丸御納戸之間
養生不相叶去ル十六日戌之刻死去仕候
私養母方江之届書七通来ル廿一日
差出可申候 仍而如件
十月廿日 許名

西丸方大目付江
同文言 許名

一右届書ハ御届日之翌日差出候事

一於之通江 作附之

元文
去ル酉年
去ル戌年
当ル子年
当ル丑年
当ル寅年
当ル卯年
当ル辰年
当ル巳年
当ル午年
当ル未年
当ル申年
当ル酉年
当ル戌年
当ル亥年

佐竹左近将監
中村伊勢守

一 若御養子御願之節ハ
十日以前ニ御願書
御届書共ニ
御老中江差出可申事
一 養子一件相済候節
御届書

一休日　十四日

一　例刻出仕

一　御先手組与力同心之内非番之者

一　例刻出仕

一　御先手組与力同心之内非番之者

一 江藤新平別段道中川之支度
　　西郷

一 休日　十六日

一 別刻出仕　十七日

一 江藤新平當月八日出京之節
　　書面之通支度今晩之内相調
　　候旨申出候事

一 江藤新平當月七日発之節
　　沙不被申渡候得共
　　当院掛之者
　　沙発之節
　　同人荷物
　　沙不被申渡候得共
　　当院掛之者
　　沙発之節
　　同人荷物

十一月八日　　長岡右中
　　佐右京亮

一　本寺門前之儀ハ　御朱印之通ニ而　本寺ニ相違無之候
一　門前屋敷之儀ハ　御朱印之通ニ而　本寺ニ相違無之候
一　常真院相続

昨朝五ツ時半ニ成候而漸ク起出候得共、
痩衰候而昏眩候ニ而、
動悸ニ而歩行難出来候ニ付、
今日も不参仕候、
森雲枝様ニも、
飲了候旨ニ而、
兎角ニ而寝間ニ而、
ニ而御座候、
海三里ニ而、
御座候、
ニ而、
ニ而、
ニ而

十一月八日

一 真恭院様江御十七日御成被遊候ニ付御水汲不申候
様ニ被仰渡候ニ付御水汲不申候事

一 御成ニ付御門前御掃除之儀ハ御成之前日ニ御掃除
被仰付候ニ付御掃除仕候事

一 御成ニ付御門前ニ而御駕籠ニ御乗被遊候ニ付御
駕籠ニ御乗被遊候事

一 御成ニ付御門前ニ而御駕籠ニ御乗被遊候ニ付御
駕籠ニ御乗被遊候事

於三次成
金子三百
屋倚宝良
永井宇候
山口領亮

一 真恭院様御事十七日御成被遊候ニ付御水汲不申候
様ニ被仰渡候ニ付御水汲不申候事

一 御成ニ付御門前御掃除之儀ハ御成之前日ニ御掃除
被仰付候ニ付御掃除仕候事

一 御成ニ付御門前ニ而御駕籠ニ御乗被遊候ニ付御
駕籠ニ御乗被遊候事

一 御成ニ付御門前ニ而御駕籠ニ御乗被遊候ニ付御
駕籠ニ御乗被遊候事

小栗胡四郎湯合方
八知湯業半

十八日

稻荷

一例刻者　十九日

一同村庄

今村江之春

大岩半

同村庄屋　関七郎右衛門

本間源之丞江送状

同村百姓

一江戸表へ

本多越後守殿ゟ

吟味筋之儀有之

間合村役人

参

八軍中村役人

同村百姓　半左衛門

庄兵衛

安兵衛

一江戸表當月九日ゟ別紙

殿様御帰府

ゟ御着御供仕候

常真院様御法事
之義
貞恭院様御法事之義ニ付
御定例之通
御用番へ
御届可申上候
一常真院様御法事之義ニ付御用番へ御届之儀
貞恭院様御法事之節之通ニ
御届可申上哉
尤御法事之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一常真院様御法事之節御用番へ御届之儀ハ
貞恭院様御法事之節之通ニ
御届可申上哉
尤御法事之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一常真院様御法事之節御用番へ御届之儀ハ
貞恭院様御法事之節之通ニ
御届可申上哉
尤御法事之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一常真院様御法事之義ニ付
御用番へ
御届可申上候
一常真院様御法事之義ニ付御用番へ御届之儀
貞恭院様御法事之節之通ニ
御届可申上哉
尤御法事之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一常真院様御法事之節御用番へ御届之儀ハ
貞恭院様御法事之節之通ニ
御届可申上哉
尤御法事之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一常真院様御法事之節御用番へ御届之儀ハ
貞恭院様御法事之節之通ニ
御届可申上哉
尤御法事之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉

書面問合候処
一昨年
御届之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一昨年
御届之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉
一昨年
御届之儀ハ
御定例之通ニ
御座候哉

一

一法曲例幷七仕　廿一日

一　別紙御奉行人々

一同生

小舎弟 泰七

叙位

奥恭院拾遺正従二位行権中納言藤原朝臣清河
従二位行権中納言藤原朝臣雄友
並 正三位行権大納言兼皇后宮大夫藤原朝臣清公
常真院殿 天保六乙未年 清心日淨大姉
十一月十日

一 奉之度

正六位上行大内記兼中務少輔菅野朝臣真道
正六位上行左衛門佐兼播磨介藤原朝臣葛野麻呂
正六位上行左衛門佐兼播磨介藤原朝臣緒嗣
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣冬嗣
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣園人
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣三守
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣内麻呂
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣真夏
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣真作
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣真雄
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣真楯
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣真鷲
従五位下行左兵衛佐兼美濃介藤原朝臣真鷹

十月九日夜

肥田京都
杉三次成
金子二省
芝紹言
永井玄探
山口松亮

一 [illegible]

右之通申渡候間可[illegible]

一 [illegible]

但当時江戸表之人[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

右之通被仰渡候事

十月十日

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

沙香猶存

一、

一、

小林良右
小川文郎
松原信右

申此新左馬
辻 志津次
奥左七郎
合弐人宛

一、

一、

西九方 沙門雪大久保加賀守殿

私養祖母病気之處養生不叶今年
死去仕候 依之定式之忌服仕申候

辰三十日 十一月十日
十一月十日
肢百六十日 十一月十日
四年 十一月十二日

本之通沙汰仕候 仍如件

十一月十日 沙門 判名

但西九方ニ文書有之

一、

和田欽吾之事西九方ニ書面相渡候事ニ付沙汰仕候 仍如件

仁右衛門

一　奉願候趣者、当年中年貢皆済之儀、
御勘定所ニ而被仰渡候通、
相違無之様ニ可仕候、
若万一皆済不仕候ハヽ、
何様ニ被仰付候共、
少も申分無御座候、
為後日仍而如件

一　万石以上之面々、
従公儀御拝領之御屋敷、
并御預地之儀、
常真院様御代、
御預ケ被成候節之通、
相違無之候、
十月中ニ御引渡可申候、
尤御預地之儀ハ、
御検地之節、
御立合之御役人衆ニ、
御引渡可申候、
以上

六月廿五日

松平伊豆守
信綱（花押）

一　万石以上
諸大名并寄合
惣領之面々、
参勤交代之儀、
従来年之通可相心得候、
尤在江戸之内、
妻子帰国之儀、
勝手次第たるへき事、

一　万石以上之面々、
従公儀御拝領之御屋敷、
并御預地之儀、
常真院様御代、
御預ケ被成候節之通、
相違無之候、
十月中ニ御引渡可申候、
尤御預地之儀ハ、
御検地之節、
御立合之御役人衆ニ、
御引渡可申候、
以上

六月廿五日

松平伊豆守
信綱（花押）

一　万石以上
諸大名并寄合
惣領之面々、
参勤交代之儀、
従来年之通可相心得候、
尤在江戸之内、
妻子帰国之儀、
勝手次第たるへき事、

一 當分
休紙
以外

本通ハ 作業ニ
但シ日出ヨリ仕事ニ
中候

一 本通ニ當間番詰ノ
當
非番
當

一 本通ニ當間番ノ
伊丹町
谷山 領元

一 當人迄

本通ニ於テ
當番
新通
一統ニ

公儀ヨリ
御觸書
御定法
御掟

福田屋助

白井屋助

淀辺屋忠兵衛

弓削十左衛門

松浦氏
忠年
書

一 當人迄

昨日ヨリ收納ニ取掛リ
五ツ半ニ帳面ヲ
差出ス

一 大三日 今日法二七日法会

一 例刊本注

一 常真院柏木 津信解之箱入

一

一

一

主名

主名

主名

沈多微之為
長安川矣和
浅村合意
余未觀
閻士毅奉
潤中主
多居雅
閻嘉為
秩回武昌
芸經漢帝
郭北印
增回芸物
一柳帝意
古回多仲
中西城意
基經多名

一例刊去 女子
一左之通注 作者名前
（空白部分）
（空白部分）
（空白部分）

一金壱分弐厘
当午真綿数二七百一束数弐百弐十目義
当日江差御役所より御積登せ相渡
請取証如件

安政五年午十月

[illegible]

同断

同断

同断

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長福寺本
三道具

小頭
足駄
中間

未
十一月

常真院殿初月忠當日法事ニ即
紹玉寺ニ於テ法要

永屋罷出
於座敷ニ
料理ニ而
御出入衆
被参候節
被為成候

浅村法庵
間仲連

宗竹殿
間仲連
下

関ヶ原合戦
上

浄當日
教相
真巻流相
多羅尼相
共摩相
節非相
百餘非相
〃
泗施
〃
浄百ケ日浄施如
〃
浄二十五
石
一疋
〃
浄遠取共九日
已後菓子等
〃
焼香代
浄花
〃
浄遠取共九日
已後菓子等
浄施人
小女人分浄施
一 浄代者、成就之例定例之外二月四日菩提講
二お勤之私勝中ニ付仏前ニ而之
去年 天真流相浄法事
浄先ニ而勝岸也
定例之定
一 浄代者、成就之例定例之外二月四日菩提講
二お勤之私勝中ニ付仏前ニ而之
去年 天真流相浄法事之節
浄先ニ而勝岸也
定例之定

元和六年閏正月廿六日
清允王女和子内親王薨去
山田奉為
忌寸院柏十七回忌
清代忌柏勅使
一年

一本通五百廿六枚

清二七日花山天皇
元和六年閏正月廿六日
清代忌柏
(花山天皇)
殿柏
貞恭院柏
清允王女和子内親王薨去
山田奉為
忌寸院柏十七回忌
清代忌柏勅使

清允王女和子内親王薨去
山田奉為
忌寸院柏十七回忌
清代忌柏勅使
一年

殿柏
貞恭院柏
清允王女和子内親王薨去
節服柏
百箇日御誦経
清代忌柏
(花山天皇)
勅使
清允内親王

殿柏
貞恭院柏
清允王女和子内親王薨去
節服柏
百箇日御誦経
清代忌柏
勅使
清允内親王

廿八日

一休日

一本日通行御免之人数左之

一例刻右仕
一御出来相済次第御勝手
次第
一
一同御勘定
御勘定吟味役
御普請役
御用人

一御普請之儀ニ付
左之通
一同断ニ付
左之通
一江戸表当月十八日
飛脚相着
奥巻之通
一
当十七日
出来
山田勘右衛門

一口

一口

一口

一口

一口

一口

[illegal] 御名御璽

津出権之通
清代焼香右之通

敬拍　津出権
奥参院拍
参座　拍
節服拍
百衆服拍

右拝終以後津年寄津用人を以相渡事
一津納之額方々之為引之高右之通之事
引足之仕法等御定格之事

一津出権之節山内居住之人不残出列
札所係おゐて一々改之事
但津役門より出候而不用村之人数門より入る
一津出権之節不用之人数門より入る事
但津出権之節御門より出入之事

一津出権之節山内居住之人不残出列
札所係おゐて一々改之事
但津役門より出候而不用村之人数門より入る
一津出権之節不用之人数門より入る事
但津出権之節御門より出入之事

於永源寺
清代焼香右之通

敬拍
奥参院拍
参座服拍

津年寄代り
権松斗御座
津附

共庫相
節娘相
百衆娘相

相之通　津若

十一月

一紫真流相津蓉送候仕舞之節役者
津幾行之節役者
津百十日之津幾事
狼　之役
茶　式番役
津遠来

殿相
津幽
猿使頭　一形
貝巻流相
同
龍山焼　一形

多衆娘相
共庫相
節娘相
百衆娘相
津幽之

酒肴
西茶　毎之通

中日

津代番
津年寄
山開人

津代番
山附

門
津役人

仮相
浄香尼　浪之枝
良恭院相
同　浪之枝
参会雁相
笠庫相
御雁相
百龍雁相
同　金弐枚

和　浄代官順見之通

一泥舩　弐枝

大月

一左之通大名衆浄国人衆奥浄云関
浄見送之命

一浄葵送之場面

一浄年寄浄
弐艘之舩
一御舩之通
乗加之事
一御舩向之
仕度加之事

一歩人弐人
乗加之事
仕度加之事
一浄出入町人
浄葵送之命

円一人

円一人

円一人

円一人

円一人

小山成円
増田吉郎
小林良吉
小川八郎
佐士目付
佐士
小沢
足助
中間

未十一月

常真院殿二百廻忌勤書覚

年寄衆

汀会衆

四人
四人
四人
四人
四人

松平加賀守
一柳五郎
依田帯刀
横山源蔵
智見久馬
依田帯刀
河野次郎
吉田鋼之丞
西村勇
小川八郎
後藤源左衛門
吉田喜之丞
田中作兵衛

三番
四人
小林主馬
平尾吉兵衛
小林次郎

三番
四人
小林良右
松原伝右
小山政門

武番
二人
小川帯刀
西村三郎

徒士目付
徒士

未十一月

小頭
定使
中間

一 御道筋於々在通ニ而
御出会之節
御根掛ケ之
松平源侯御家従通ル小山駅ニ而

休ミ道

永源寺表門ゟ
御出会之節
御根掛ケ之
工松源侯御家従中ノ橋御

前通ル表門ゟ
御出会之節
御根掛ケ之
稲葉縫殿頭御家従中ノ橋御

一 沙汰おゐてハ元年内御届ケ
御出会之節
御根掛ケ之
御届ケ之上ニ而
御出会之節
御根掛ケ之
御届ケ之上ニ而
御出会之節
御根掛ケ之
御届ケ之上ニ而

一 布告之後仍不服從者
云々 許状を得ざる
一 各士分之家
仕官を願ふ

武蔵　土佐　本門寺
　　安房　尾張　播磨　備前　肥前

和歌四ヶ谷威徳寺　浄土宗
作出芽本堂浄蓮之滅下之節
建立為助成　浄厳院殿御寺社奉行衆
家中之旦寄　寺社奉行衆
寛政元酉年ヨリ今年ヨリ勤仕
浄光院殿御代ヨリ本堂ヨリ
寄進ヨリ浄祐
寛政元酉年ヨリ
浄光院殿御代ヨリ
寄進ヨリ浄祐
寛政元酉年ヨリ
浄光院殿御代ヨリ
寄進ヨリ浄祐

右之通ニ候以上

十月廿四日　永井若狭守
　　脇坂淡路守

公方様
一種　弐百疋　拾両
一種　弐百疋　五両
一種　弐百疋　三両
一種　弐百疋　弐両
一種　弐百疋　弐両

一格
一格
一格

一　昨廿七日

一　休日　　廿八日

一　沖縄県ヨリ之届書到来ス

一　例刊本仕

一　沖法第二号布告之義ニ付テハ

一　昨廿九日　大九日

一　沖法第二号布告ニ付テハ

一　例刊本仕

一　沖法第二号布告之義ニ付テハ

沖縄県

一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

一 清代番衣通
　　　

出石藩
御用部屋日記
天保　六未年　十二月

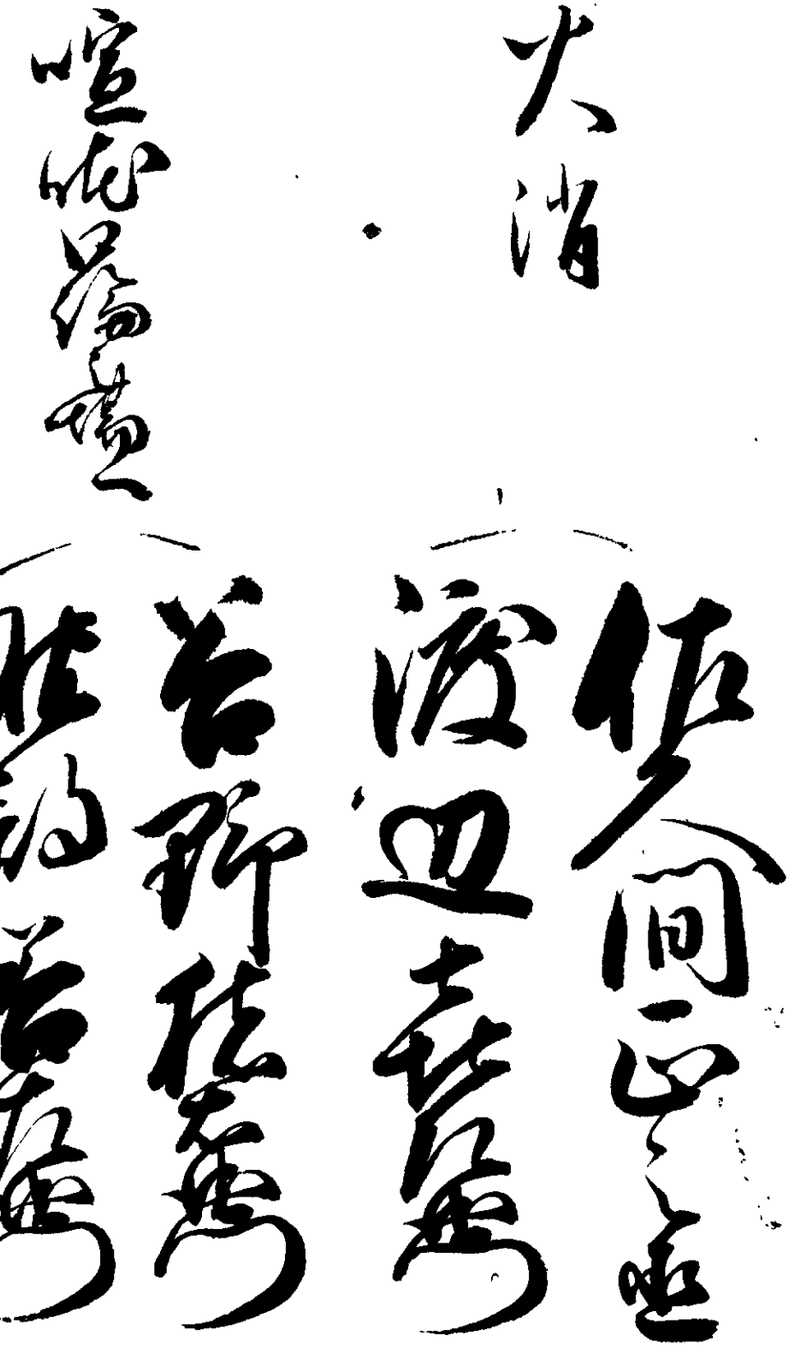
出石町公民館蔵

天保六未年
出石藩
御用部屋日記

十二月大

節分十九日

大消



一仏刹土　報仏浄土

但浄土宗ニ於テハ

一今般　許可ニ付

御礼ノ為

一先日中当家中人別

一諸士ニ当ル

一先日中御祝ニ

一浄土宗之寺院

但本山ニ於テ

唯授一念之法門

一浄土宗之寺院ニ於テ

御祝儀之節

丹上之

祝田武内

岡本連

岡口象次

岡口角蔵

岡部法印

増田宣明

一

一体

二月

一仁科社

一當宮

一前略

右之通之候

八幡之事

一前略

右之通之候

山田能登守

一右社寺領

永申年御寄附之事

一五百石

一二百石

一二百石

一二

一常真院様御代

十日

許容

一休日　八日

一　虎嘯
　許免之通注之
　如前之記

一前人ヨリ
　右之通之御礼ニ
　参候由ニ而
　使僧中之心得
　右之通ニ而
　唯今ハ御留主ニ
　付不申候ニ
　付
　少将様
　御下向
　午礼

一右之通ニ而
　御礼
　相済候事

十一日八日
　晴天申

一江戸表ヨリ到来之
　状之内ニ而
　去ル二日出
　之飛脚

一晴天申

一昨年依而
　斗上洛之
　勅使御発向
　之儀ニ付
　二条様
　御下向
　御名代
　御下向
　御供
　丹下長兵衛

一

一

一

一姓
一姓
一姓
一姓
一姓
一姓
一姓

一 一 一 一 一

姓 姓 姓 姓 姓

一 清浄の者故意に落

当人 金糸若干

梶田武司

添付済み

一 清浄の者故意に

許可書未添

原稿

貝塚弘

多数無効

投票総数

有効投票

梶田武司

不同意

金糸若干

不旧人

赤木弘

添付済み

梶田武司

不同意

人

一當人ヨリ

新馬場茶屋ヨリ福下

四条往来ヨリ八ツ橋ヲ

一鈴屋ヨリ

大坂綿平ヨリ津

一堺士ヨリ

大坂鴻池ヨリ

一堺ヨリ

大坂下り米ヲ一手

一當ヨリ

大坂通り筋ヲ不結當ヨリ

諸

四方ヨリ於京ニ入銀ヲ

序節ヲ以テ

西堺ヨリ

ヤリ

運送

一休日　十二日

一当宅

一御用之事

一休日

一当宅

一御用之事

一休日　十四日

十六日

一 休日

一 当直

十七日

一 例刻出仕

一 諸向取次

十八日

一 例刻出仕

一 諸向取次

十九日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十一日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十二日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十三日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十四日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十五日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十六日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十七日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十八日

一 例刻出仕

一 諸向取次

二十九日

一 例刻出仕

一 諸向取次

三十日

一 例刻出仕

一 諸向取次

三十一日

一 例刻出仕

一 諸向取次

一寺社奉行

一 土地を世帯所有者に無償で
ただし八年を経過した後
一 決定法律で定める
ただし政府は東京
山田 福岡
長崎 宮城
大阪

甲県政治学士
京 大阪 神奈川 奈良 静岡
名古屋 名古屋
静岡県政治学士
京 大阪 東京 甲府
甲府 東京 甲府

一 法律命令 東京府
ただし政府は
京 大阪 東京
甲府 東京
大阪 一五八四 百四
ただし政府は
一 法律命令
ただし政府は

事

未十二月

一仙台領給人之通平常日柳原口御門外ニ而

小川八右衛門
福田喜平
小林長右衛門
松井清兵衛

十二月十九

一

一

一

一

一

一

町

十二ハ十ヵ

町

一　訴訟人不参之節

一　訴訟人不参之節

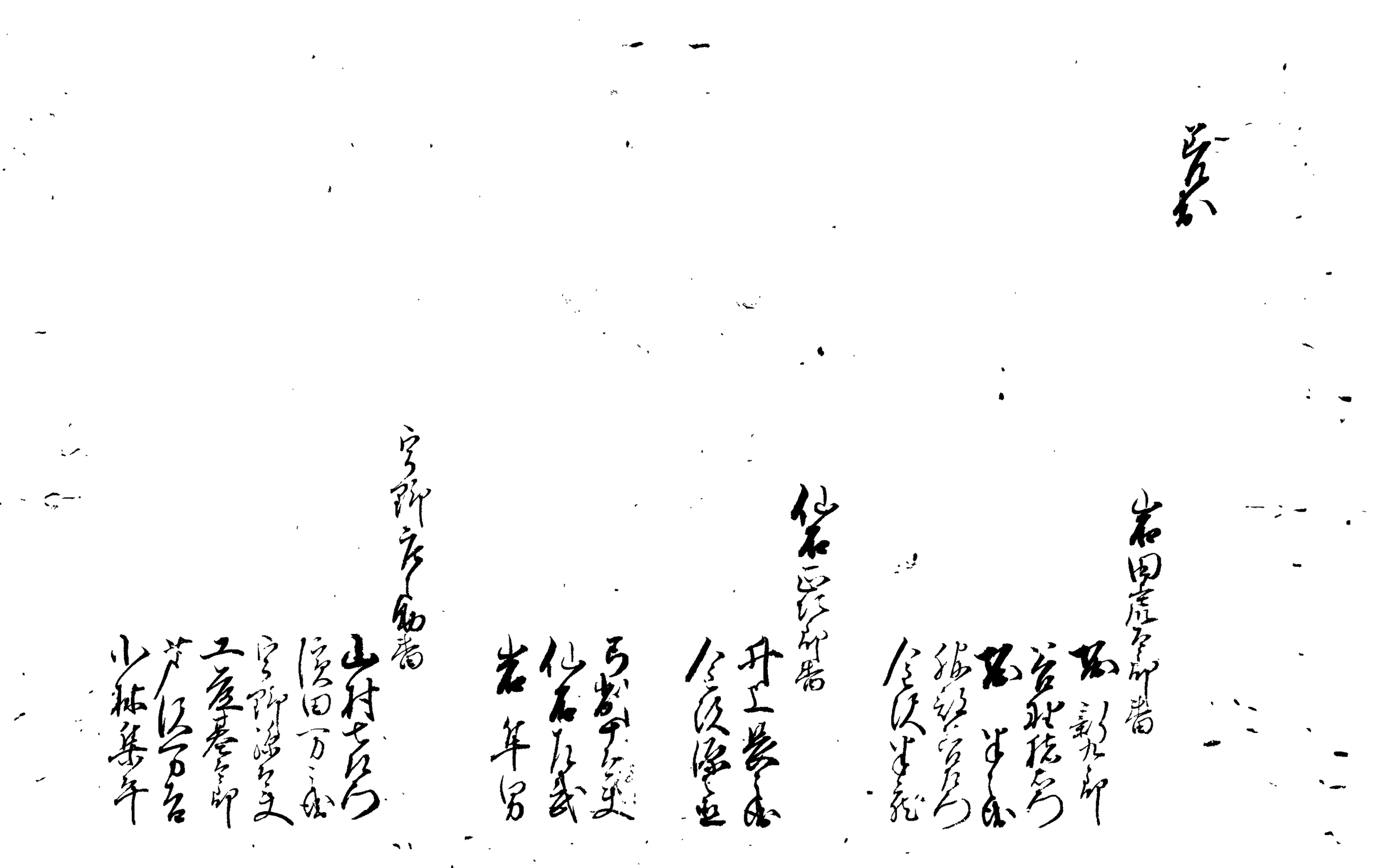
一　論人不参之節

一　論人不参之節

一　訴訟人不参之節

一　訴訟人不参之節

一　訴訟



十二月九日

別紙

未
十一月

一

一

十二日 雨

十三日 雨